

バックオフィス業務を効率化するデジタルツールの導入を計画。業務効率化により捻出した人的リソースを新たな観光誘客施策へシフトする「観光DX計画」を策定。

一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構				https://www.oki-geopark.jp/	
本社所在地	隠岐の島町	資本金	-	事業概要	ジオパークを基盤とした観光地域づくりに関する事業
代表者名	池田高世偉	従業員数	20名		
設立年	2009年	業種	観光業	地域未来牽引企業	

背景

- 過去、年間5万人以上の観光客を受け入れてきた隠岐諸島であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数の減少が顕著となっていた。
- そのようなコロナ禍ではあるものの、2023（令和5）年9月9日には世界ジオパーク認定から10年目の節目を迎え、環境・教育・観光の3つの領域の発展・振興を通じて、観光地域づくり法人（DMO）の目指す隠岐諸島の未来像「社会・経済・環境の三方良し」の実現を図る重要な年度と位置付けていた。
- コロナ禍で落ち込んだ観光産業の維持・回復を図るためにも、積極的な誘客施策は必要不可欠であり、デジタルを効果的に活用する考えを持っていた。

計画の骨子

<内部DX> 勤怠管理システムの導入計画

- ▶ 誘客施策の推進に人的リソースを割くために、バックオフィス業務の効率化を計画
- ▶ 業務分析の結果、「実現性」「効果性」「波及効果」の3つの観点から、シフト調整業務の改善に取り組むことに決定
- ▶ 全職員のシフト調整・勤怠管理に関する業務をクラウド化する計画を策定

<外部DX> 新たなメタバース交流事業の立ち上げ

- ▶ 更なる認知度向上のための旅前コンテンツとしてメタバース空間上に隠岐ジオパークを構築する計画を策定
- ▶ 日本ジオパークネットワーク同士をつなぐ交流プラットフォームとしても活用予定